



**JPX**  
JAPAN EXCHANGE  
GROUP

# 売買内訳データ提供サービス データ仕様書（内部利用）

(Ver. 1.4)

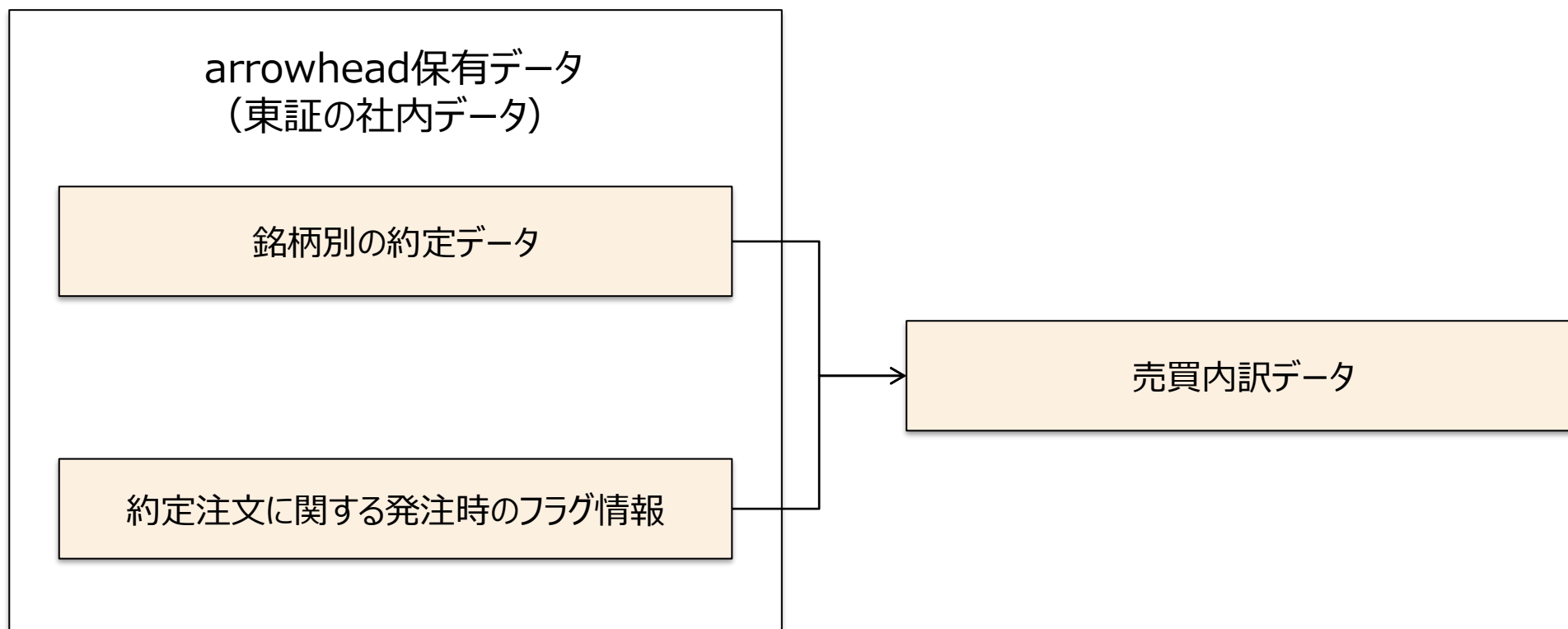
JPX総研

2023年8月

1. データの作成方法
2. 信用取引について
3. 空売りについて
4. データ仕様書
5. データ利用上のご注意

# 1. データの作成方法

- 売買内訳データは、東証上場銘柄の東証市場における銘柄別の日次売買代金・売買高（立会内取引に限る）について、信用取引や空売りの利用に関して、発注時のフラグ情報を用いて細分化したデータです。
- 投資家は東証市場への発注時に、自身の注文の属性情報（信用取引かどうか、空売りかどうかなど）を入力する必要があり、これらの情報は主に規制目的で利用されています。
- JPX総研は、arrowhead（売買システム）に蓄積されている銘柄別の約定データを発注時のフラグ情報を用いて集計し、「売買内訳データ」としてデータ利用者に提供します。



- 信用取引の特徴

- ✓ 信用取引とは、証券会社へ担保を差し入れたうえで資金や株式を借りて売買する取引形態です。（※1）
- ✓ 信用取引では、担保として差し入れた現金や株式の最大3.3倍の売買を行うことができます。また、信用売りでは、証券会社から株式を借りて空売りを行うことができます。

（参考）信用取引のしくみ <https://www.jpx.co.jp/equities/trading/margin/outline/index.html>

- 制度信用取引と一般信用取引

- ✓ 信用取引には、対象銘柄や返済期限を東証が定める制度信用取引と、これらの条件を投資家と証券会社間で定める一般信用取引があります。制度信用取引の場合、返済期限は最長6ヶ月間ですが、一般信用取引の場合、返済期限は定めないこともあります。

- 貸借銘柄

- ✓ 基本的に全上場銘柄について信用買いを行うことができますが、信用売りを行うことができる銘柄は、多くの場合、東証が選定する貸借銘柄に限定されます。現在、上場銘柄数の約6割が貸借銘柄に選定されています。

（参考）貸借銘柄一覧 <https://www.jpx.co.jp/listing/others/margin/index.html>

- 信用取引フラグ

- ✓ 信用取引を行う場合、投資家は自身の注文が新規取引（新たなポジションを作るための取引）か返済取引（既存のポジションを閉じるための取引）かについて、フラグをつけて発注する必要があります。（※2）
- ✓ 信用取引の返済取引を行う場合、通常は同銘柄を同数量反対売買することによって返済します。例えば、信用買いポジションを閉じる（返済する）場合は、信用返済売りを行います。

（※1）海外投資家などが金融商品取引業者ではないブローカーから資金や株式を借り入れて売買する場合は、信用取引には該当しません。

（※2）フラグには制度信用取引及び一般信用取引の区別はありません。

# 3. 空売りについて

- 概要

- ✓ 空売りとは、株式を有さない状態で、株式を外部から借り入れて売付けを行う取引形態です。
- ✓ 空売りには、信用売りと信用売り以外の空売りがあります。一般的には信用売り以外の空売りは信用売りよりも規模が大きいです。
- ✓ 空売りに関しては、空売りの明示義務、空売りの価格規制などの規制があります。

(参考) 売買の規制 <https://www.jpx.co.jp/equities/trading/regulations/02.html>

- 空売りの明示義務

- ✓ 空売りを行う場合は、投資家は自身の売り注文が空売りであることを明示して発注する必要があります。ただし、空売りの明示義務の適用除外となる空売りがあります。

- 空売りの価格規制（トリガー方式のダウンティックルール）

- ✓ ある銘柄の株価が当日に10%以上下落した場合、空売りを行うことができる価格が制限されます。ただし、空売りの価格規制の適用除外となる空売りがあります。

- 空売りフラグ

- ✓ 空売りを行う場合、投資家は自身の注文が空売りの価格規制の適用除外である空売りか否かについて、フラグをつけて発注する必要があります。
- ✓ 空売りの明示義務の適用除外となる空売りは、通常は、「実売り」として東証へ発注されます。
- ✓ 空売りの価格規制の適用除外となる空売りは、通常は、「価格規制なしの空売り」として東証へ発注されます。

# 4. データ仕様書（内部利用サービス） 1/4

- データ名称
  - ✓ 売買内訳データ
  
- データ内容
  - ✓ 銘柄別の日次売買代金・売買高について、発注時のフラグ情報を用いて細分化したデータ
  
- フォーマット
  - ✓ 全銘柄のデータをcsvファイルに格納（1日1ファイル）
  
- 提供期間・取得方法
  - ✓ 2010年1月以降のデータを提供します。
  - ✓ その他データの取得方法は契約時にお渡しする別紙接続仕様書をご参照ください。

# 4. データ仕様書（内部利用サービス） 2/4

- ファイルレイアウト
- ✓ 20列のヘッダーを持つcsvファイル（ヒストリカルデータ及び日々の更新データで共通）
- ✓ ヘッダーの意味については、次項以降を参照

date	code	va_1_0_0	va_1_0_5	va_1_0_7	va_1_2_5	va_1_2_7	va_1_4_0	va_3_0_0	va_3_2_0	va_3_4_0	vo_1_0_0	vo_1_0_5	vo_1_0_7	vo_1_2_5	vo_1_2_7	vo_1_4_0	vo_3_0_0	vo_3_2_0	vo_3_4_0
20180111	XXXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX

売買日(YYYYMMDD)  
証券コード(4桁または5桁)

約定代金の内訳

約定株数の内訳

# 4. データ仕様書（内部利用サービス） 3/4

- ヘッダーの1,2列目は約定日と証券コードを示し、3列目以降は、「①\_②\_③\_④」のように標記されます。
- ✓ 3列目以降のヘッダーは、「約定代金と約定数量の別\_売りと買いの別\_信用フラグ\_空売りフラグ」を意味します。
- ✓ 例えば、va\_1\_0\_0は約定代金\_売り\_非信用取引\_非空売り（実売りの約定代金であること）を意味します。

ヘッダー	ヘッダーの意味	凡例	備考
①	「約定金額」「約定数量」の別を示します。	va : 約定代金（単位：円） vo : 約定数量（単位：株）	<ul style="list-style-type: none"> <li>3～11列が約定代金、12～20列が約定数量の内訳を示します。</li> </ul>
②	「売り」「買い」の別を示します。	1 : 売り 3 : 買い	<ul style="list-style-type: none"> <li>売りの約定代金（約定数量）の合計と買いの約定代金（約定数量）の合計は一致します。</li> </ul>
③	「信用フラグ」を示します。	2 : 信用新規取引 4 : 信用返済取引 0 : 非信用取引	<ul style="list-style-type: none"> <li>信用新規取引は、新たな信用取引のポジションを作るために行う取引です。</li> <li>信用返済取引は、既存の信用取引のポジションを閉じるために行う取引です。</li> <li>非信用取引は、信用取引ではない取引です。</li> </ul>
④	「空売りフラグ」を示します。	5 : 空売り（価格規制あり） 7 : 空売り（価格規制なし） 0 : 非空売り	<ul style="list-style-type: none"> <li>空売り（価格規制なし）とは、法令上、空売り価格規制の適用除外となる取引であり、空売り（価格規制あり）とは、これ以外の空売りです。</li> <li>非空売りは空売りではない取引であり、実売りや買いは非空売りです。</li> </ul>



# 4. データ仕様書（内部利用サービス） 4/4

ヘッダー	内容	単位	備考	
date	売買日（YYYYMMDD）	-		
code	証券コード（4桁または5桁）（※1）	-		
va_1_0_0	実売りの約定代金	円	売りの約定代金の内訳	
va_1_0_5	空売り（信用新規売りを除く）のうち、価格規制の適用除外ではない注文の約定代金			
va_1_0_7	空売り（信用新規売りを除く）のうち、価格規制の適用除外である注文の約定代金			
va_1_2_5	信用新規売り（新たな信用売りポジションを作るための売り注文）のうち、価格規制の適用除外ではない注文の約定代金			
va_1_2_7	信用新規売り（新たな信用売りポジションを作るための売り注文）のうち、価格規制の適用除外である注文の約定代金			
va_1_4_0	信用返済売り（既存の信用買いポジションを閉じるための売り注文）の約定代金			
va_3_0_0	現物買いの約定代金			買いの約定代金の内訳
va_3_2_0	信用新規買い（新たな信用買いポジションを作るための買い注文）の約定代金			
va_3_4_0	信用返済買い（既存の信用売りポジションを閉じるための買い注文）の約定代金			
vo_1_0_0	実売りの約定数量	株	売りの約定数量の内訳	
vo_1_0_5	空売り（信用新規売りを除く）のうち、価格規制の適用除外ではない注文の約定数量			
vo_1_0_7	空売り（信用新規売りを除く）のうち、価格規制の適用除外である注文の約定数量			
vo_1_2_5	信用新規売り（新たな信用売りポジションを作るための売り注文）のうち、価格規制の適用除外ではない注文の約定数量			
vo_1_2_7	信用新規売り（新たな信用売りポジションを作るための売り注文）のうち、価格規制の適用除外である注文の約定数量			
vo_1_4_0	信用返済売り（既存の信用買いポジションを閉じるための売り注文）の約定数量			
vo_3_0_0	現物買いの約定数量			買いの約定数量の内訳
vo_3_2_0	信用新規買い（新たな信用買いポジションを作るための買い注文）の約定数量			
vo_3_4_0	信用返済買い（既存の信用売りポジションを閉じるための買い注文）の約定数量			

（※1）2024年1月1日以降に新たに設定する証券コードから英文字組入れが実施されますのでご留意下さい

- 空売りと信用売り

信用売りは空売りの一種であり、市場全体では、信用売り以外の空売りが信用売りよりも大きくなっています。また、プロの投資家による空売りは大部分が信用売り以外の空売りです。

- 信用取引の利用状況

信用取引は買いから入る取引（信用新規買い→信用売り返済）と売りから入る取引（信用新規売り→信用買い返済）がありますが、市場全体では、買いから入る取引が売りから入る取引よりも大きくなっています。また、個人投資家による売買の過半は信用取引です。

<https://www.jpx.co.jp/markets/statistics-equities/investor-type/index.html>

- 信用取引残高

売買内訳データと銘柄別信用取引残高（週末残高）を組み合わせることで、銘柄別の日次の信用取引残高を推計することができます。ただし、売買内訳データには「立会外取引」「現引き、現渡し」は含まれないため、実際の数値とは差がでることにご注意ください。

✓ 信用買残高（推計値） = 前週末の信用買残高 + 翌週の信用新規買い - 翌週の信用返済売り

✓ 信用売残高（推計値） = 前週末の信用売残高 + 翌週の信用新規売り - 翌週の信用返済買い

信用取引残高のデータ（ヒストリカルデータを含む）は東証のレファレンス情報サービスから取得できます。

<https://www.jpx.co.jp/markets/paid-info-equities/reference/index.html>